

当院ではマクロファージマーカーである CD68 を用いて尿沈査を染色し、尿中 CD68 細胞数を測定しています。通常の腎機能では出現しないこれらの細胞は、糸球体腎炎、ネフローゼなどで出現し、その活動性と相関します。面白い特徴として、良性血尿（基底膜菲薄病）やステロイド奏功性ネフローゼ（微小変化型ネフローゼ）では尿中 CD68 細胞は出現しません。疾患の鑑別や病勢判断が可能となる為、治療方針を決める上で非常に有用な検査です。

